

## 気づいていくこと

水。それは地球が持っている青い恵みです。もしポスターを書くときのテーマが、「水」だとしたら皆さんはそのポスターにどのような言葉、文章を付け加えますか。「水は大事」とか、「水を大切に使う」などが多いと思います。でも実際、私たちはそこまで水を大切に使用しているのでしょうか。

このまま、水を使って行くと地球が二つ必要だというのを聞いたことがあります。もしそれが本当だとすると、それはとても大変なことだと思います。「水は大事」、「水は大切だ」などという言葉は、いったいどこへ消えたのでしょうか。今の様子だと、私たちはそこまで水を大切にあつかっていないことがよく読み取れると思います。

梅雨が終わってからの私たちが待ちに待った夏。夏休みで、夏祭りがあったりと、イベ

大和高田市立高田西中学校 二年  
松川 碧

ントが盛りだくさんあるあの季節です。その季節のとき、「ダムの水の水位が下がってきている」、「ため池の水が減っている」、「水不足になってきている」などというのをテレビのニュースで見かけませんか。そのニュースが伝えようとしていることは、地球にある水が減ってきているということです。

でも、水が少なくなつたと感じることは、この日本という国では難しいことだと思えます。なぜなら、水道という蛇口をひねるだけで、きれいな水がずつと出るといふ便利な物があるからです。それは、先進国ならではの思われます。発展途上国では、水道という便利な物が各家庭にあるのは、珍しいと思えます。井戸水や雨水を生活で使う彼らの方が、私たち日本人より、水問題には敏感なのかもしれせん。

しかし私たちが、日本人もこれまで以上に水と深くかかわっていくことが大切だと思いません。例えば、小中学生、高校生が中心となつて、「水は大切」だと呼びかけをすることもできると思います。

一人だけが、思っているのではなくて水を大事にしようとするその思いを人から人へと繋げていく、そのようなバトンが地球規模となれば、水は大事だと知らないうちに思えてくると思います。水は人々に恐怖をあたえるときもあります。人を幸せにするときもあります。そんな水のことを理解できる人はかっこいいと思いませんか。地球から、水がなくなるのはいつかは分かりません。でも、水がなくなるタイムリミットは一刻、一刻とせまってくると思います。私たち人類が、水の大切さに気づいていくことが、水を大切にあつかうための第一歩だと思えます。